

〔伊呂波字類抄比疊字〕美膳。美菜。美食。

〔成通卿口傳日記〕一鞠足饗膳の事

主君又むねとあらん人美膳を儲よ、御座につきて進むべし。

〔伊呂波字類抄比疊字〕美物。

〔運歩色葉集比〕美物

〔塵袋九〕一美物ト云フハ、ヨキクヒモノ歟、イヲトリノ名歟、

兩様ニ通ズル也、美物ト云フヲ魚味トオモヒナラハセル事モアリ、ソノユヘナキニ非ズ、日本紀ニハ美物與酒トカキテ、イヲトサケト、ヨメリ、

〔尺素往來〕巡役之朝飯、明日可令勤仕候、此間依霖雨、美物雖難得候、四足者猪、鹿、熊、兔、狸、獺、等、二足者雉、鶉、鴉、鴉、雁、鶴、鷺、山鷄、青鷺、并卵子等、魚類者鯉、鱸、等、濟々尋出候也、

〔建久三年皇大神宮年中行事二月〕十二日、略○中本座ニ歸テ在酒肴、美物兩種菓子在之、

〔四條流庖丁書〕一美物上下之事、上ハ海ノ物、中ハ河ノ物、下ハ山ノ物、但定リテ雉足事也、河ノ物ヲ中ニ致タレドモ、鯉ニ上ヲスル魚ナシ、乍去鯨ハ鯉ヨリモ先ニ出シテモ不苦、其外ハ鯉ヲ上テ可置也、鮒又ハザコ以下ノ河魚ニハ、海ノ物下ヲスベカラズ、乍去鮮ニナドハ、龍足在時ハ、少ハ其心得有之ベシ、山ノ物下ト定タレドモ、鷹ノ鳥ニハ如何ナル白鳥成トモ、上ヲスベカラズ、雉ノ鳥ニ必可限、何ニテモ鷹ノ取タル鳥ヲバ、賞翫勝タルベシ、鷹ノ鳥ヲ人ニ參ラスル時ニハ、燒物ヨリ外ニスベカラズ、餘ノ御肴ニ組付ル事スベカラズ、一種タチニテ可參、鷹ノ鳥ニテハ、白鳥ノ事一種タチニテ可參、鯨モ同前也、如何ナレバ、似相タル物マレ成故組付ニハスベカラズト云々、

〔四條流庖丁書〕一美物ヲ拵テ可出事、可參次第ハ、ビ、ブ、ツノ位ニヨリテ可出也、魚ナラバ鯉ヲ一番ニ可出、其後鯛ナド可出、海ノ物ナラバ、一番ニ鯨可出也、水鳥ナラバ白鳥、菱喰雁ナド、ケ様ノ次第